

【イベント案内】

県立丹沢湖ビジターセンター

- 自然教室「野鳥観察はじめての一步」
内容：初めての方を対象に、丹沢湖周辺でのんびり冬鳥などを観察します。
実施日：平成24年2月4日(土)
時間：9:30~15:30頃
集合：丹沢湖駐車場(三保ダム管理事務所の隣にある無料駐車場)
解散：丹沢湖ビジターセンター
その他：午前と午後で場所を移動します。
自家用車以外の方は、別途バス代240円がかかります。
募集人数：小学生以上20名(小学校生は保護者同伴)
※応募者多数の場合には抽選
参加費：1,000円(保険代、資料代)
締切日：1月23日(月)必着

県立宮ヶ瀬ビジターセンター

- 自然教室「丹沢の行者道を歩こう」
内容：山岳宗教がさかんだった東丹沢の登山道を歩き、かつての丹沢に思いをさせましょう。
(標高差 約460m。健脚向き)
講師：城川隆生氏(日本山岳修験学会会員)
実施日：平成24年3月15日(木)
時間：9:30~15:30頃
募集人数：30名(一般：高校生以上)
応募者多数の場合には抽選
参加費：2,500円(保険代含む)
場所：鐘ヶ岳周辺(厚木市・清川村)
締切日：2月23日(木)

県立秦野ビジターセンター

- 自然教室「地図とコンパスこれだけは！」
内容：登山やハイキングの前に地図とコンパスの使い方を学んでみませんか?
室内で基礎を学んで、野外で実践します。
実施日：【第1回】平成24年2月17日(金)
【第2回】平成24年2月18日(土)
時間：9:30~16:00
場所：県立秦野ビジターセンター(室内)および周辺の登山道
募集人数：各回30名(高校生以上)
※応募者多数の場合には抽選
参加費：1人 2,200円(保険代・資料代込)
雨天時：内容を多少変更して実施
締切日：2月2日(木)

県立陣馬自然公園センター

- 写真展
「第2回神奈川県立陣馬相模湖自然公園の写真展」
内容：一般の方が陣馬相模湖自然公園内で撮影し、ご応募いただいた写真を展示しています。
自然公園の素晴らしさ・撮影した方の想いを感じていただければ幸いです。
展示期間：平成23年10月1日(土)
~平成24年1月31日(水)
※休館日にご注意ください。

【ビジターセンター自然教室申込方法】

往復はがき、またはFAXに行事名・参加者全員の氏名・年齢・住所・電話番号(FAXでお申し込みの方は返信先FAX番号)を記入して締切日必着で各ビジターセンターまでお送りください。詳細は締切後の返信にて連絡します。
※秦野ビジターセンターは往復はがきのみ受付。

2012

1月号
NO.95

~自然公園から季節のたよりをお届けします~

神奈川県自然公園だより

丹沢大山国定公園 県立丹沢大山自然公園 県立陣馬相模湖自然公園 富士箱根伊豆国立公園



冬の丹沢
雪の丹沢
丹沢湖ビジターセンター

塔ノ岳山頂から見た蛭ヶ岳

自然公園へ出かけよう



休館日のお知らせ
県立ビジターセンター：月曜日(祝日開館)、祝日翌日(土日開館)
1~3月第2水曜日(祝日開館)
年末年始(12/29~1/3)
箱根ビジターセンター：6月第2水曜日とその翌日、
年末年始(12/28~1/1)

県立宮ヶ瀬ビジターセンター

〒243-0111 清川村宮ヶ瀬940-15
Tel046-288-1373 Fax046-288-1162
開館時間 9:00~16:30
(1/4~2/28は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/miyagase/>

県立秦野ビジターセンター

〒259-1304 秦野市山下1513
Tel0463-87-9300 Fax0463-87-9311
開館時間 9:00~16:30(通年)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/hadanovc/>

県立陣馬自然公園センター

〒229-0201 相模原市緑区佐野川1659-3
Tel0426-87-5270 Fax0426-87-5270
開館時間 9:00~16:30
(12/1~3/31は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/jinba-vc/>

県立丹沢湖ビジターセンター

〒258-0202 足柄上郡山北町玄倉515
Tel0465-78-3888 Fax0465-78-3777
開館時間 9:00~16:30
(1/4~2/28は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawakovc/>

県立西丹沢自然教室

〒258-0201 足柄上郡山北町中川1867-2-9
Tel0465-78-3940 Fax0465-78-3940
開館時間 8:30~16:30
(12/1~3/31は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/nishitanzawa/>

環境省箱根ビジターセンター

〒250-0522 足柄下郡箱根町元箱根164
Tel0460-84-9981
開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)
<http://www.mmjp.or.jp/HakoneVisitorCenter/>

編集・発行：公益財団法人 神奈川県公園協会 〒231-0027 横浜市中区扇町3-8-8関内ファーストビル6階

TEL:045-651-0931 FAX:045-651-0932

公園課(自然公園担当): sizenkouen@kanagawa-park.or.jp ホームページ <http://www.kanagawa-park.or.jp/>

後援：丹沢大山自然再生委員会

神奈川県公園協会

検索

冬山の季節到来です！丹沢では12月9日に初積雪があり、最高峰蛭ヶ岳では5~6cm積もったそうです。標高1,200m以上では、樹木の枝に水分が凍りついて出来る「霧氷」も見られました。

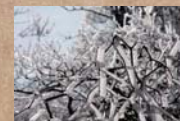
冬山は危険、寒い、そんな印象を持っている方は多いのではないのでしょうか。確かに、それは事実です。昼間に溶けた雪が夜間に凍ってアイスバーンになることがあります。風通しの良い尾根では雪が強風にあおられ視界が不明瞭になったり、体感温度がガクッと下がることもあります。

冬山は夏山以上に注意が必要です。軽アイゼンや防寒具など十分な装備と用心をして、いざ！雪をかぶった丹沢に足を踏み入れてみると、冬山への不安を押してでも登った甲斐があると思えるほど素晴らしい景色が出迎えてくれます。

1月は夏に比べて降水量は少ないですが、気温が最も下がる時期でもあるので、丹沢は冬山らしい表情を見せてくれます。くれぐれも安全に配慮して冬の丹沢、雪の丹沢を楽しんでください。(長澤)



朝焼けと霧氷



霧氷



白と黒の世界



コケに付いた霧氷

寒さの中にも自然の楽しさが…

箱根ビジターセンター

12月9日、強い寒気が上空に流れ込み、ここ箱根にも例年より遅い初雪が降りました。

はじめは雪というより霰がパラパラと音をたてて降り、そのうち細かな雪の粒となりました。まだ紅葉している木々や真っ赤な実にも、新雪が粉砂糖のように降りかかって、訪れる人々の目を楽しませてくれます。



イロハモミジ



ツルリンドウ

翌12月10日、前日の雪もほとんど溶けて、冬の青空に鮮やかに映える木の実。あとは冬鳥たちの本格的な到来を待つばかりです。 ウソ、シメ、ルリビタキ、ツグミ、ジョウビタキ・・・今から楽しみですね。(加藤学)



ツルウメモドキ



カマツカ



ウソ

目まぐるしく移りゆく季節

秦野ビジターセンター



あっという間にまた1年が過ぎ、2012年を迎えました。2011年1年間のビジターセンターで行った自然公園情報収集の写真を並べてみました。

自然の移り変わりはとても早く、「来年こそはこの花の写真を！この景色を！」と思っても、気が付けばその時期を逃し…なんて思いをしたことはありませんか？「あ～、間に合わなかった…また来年か」ということが毎年反省しつつも度々あります。「次に来た時、この花の写真を撮ろう！」なんて悠長なことを言っていると、あっという間に終わってしまいます。

自然の景色は一瞬一瞬で変わり、同じ顔は二度と見せてくれません。ぜひ、「素敵！」と思った瞬間にカメラのシャッターを！また2012年も丹沢の自然情報をお伝えします。どうぞよろしくお願ひします。(村上)

| | | |
|--------------|---------------|------------|
| 1月 ニホンジカ(オス) | 2月 実たつぷりテンの糞 | 3月 ヤマメコメソウ |
| 4月 表尾根と富士山 | 5月 トウゴクミツバツツジ | 6月 フナハバチ被害 |
| 7月 ヤマユリ | 8月 ヤハズハハコ | 9月 タマゴタケ |
| 10月 蛭ヶ岳を望む | 11月 ツルウメモドキ実 | 12月 山麓の紅葉 |

2011年西丹沢“勝手に”10大ニュース

西丹沢自然教室

2011年は丹沢全体でも、いろんな出来事がありました。来館者などにアンケートの協力をお願いして決めた「2011年西丹沢“勝手に”10大ニュース」は、次のとおりでした。

第1位 三つの台風の影響で大雨が降り、木橋が流されるなど登山道が荒れた。

- 第2位 フナハバチが多く発生し、葉がなくなるほどブナの葉が食べられた。
 第3位 青崩隧道の工事が終わり、玄倉林道の歩行が可能になった。
 第4位 足柄茶からセシウムが検出され、出荷の自粛や回収などが行われた。
 第5位 今年のシロヤシオは、花は遅い時期だったが花付きはよかった。
 第6位 夏から秋にかけての沢沼にイワシャジンなどの花がきれいに咲いた。
 第7位 玄倉川や大杉山でヤマビルの情報が相次いだ。
 第8位 台風15号は風が強く、ブナやツツジなどが風で倒れた。
 第9位 ツツジ新道の登山口から5分のところで転落死亡事故が起きた。
 第10位 東日本大震災の地震は、山北町では震度4の揺れを記録した。

さて、今年はどうな一年になるでしょうか。(倉持)



台風で流された木橋(上)
根ごとた倒れたツツジ(右)



大発生したフナハバチの幼虫



青崩隧道の工事の様子
※現在、林道は徒歩での通行は可能ですが、チェーンロップは引き続き休業中です。

まるで玉ねぎ！？タマネギ石

宮ヶ瀬ビジターセンター

1月の自然観察におすすめなのが、大地の観察です。

落葉し草枯れた冬には、隠れていた大地の姿があらわになるため、見たり調べたりするのが都合なのです。

そこで、宮ヶ瀬周辺で一押しなのがタマネギ石という石の観察です。その名の通り、タマネギの皮を何枚かむいたような石で、タマネギ状風化構造ともいわれます。

この石は、丹沢が本州に衝突した大地のエネルギーによって凝灰岩類にヒビが生じ、更に水や気温差などの影響でもろくなり、そこが風化されてきたと考えられています。

宮ヶ瀬周辺では林道脇や沢沿いなどで多く見られるタマネギ石ですが、それ以外の地域では、「ボタン石」や「亀の子石」などと称され、大山や厚木の鐘ヶ岳の登山道などで観察することができます。

この冬、身近な石ころを通して、大地の営みを見つめてみませんか？(酒井)



玉ねぎとタマネギ石



タマネギ石



大地に顔を出したタマネギ石